

# なかつか 亮

品川区の住宅事情...

## 区営住宅「応募693人に対し入居24人」 都営住宅「最高倍率 386倍」 これって何!怒!

03年に初当選してから18回目の区議会定例会が行われています。私が、議会で取り上げるテーマの出発点は、日頃の生活相談で寄せられた区民の実態。その相談活動で最も多い内容は「区営住宅」「都営住宅」など公営住宅への入居相談です。東京都や品川区が「今後の建設計画はゼロ」という中、募集倍率は3ケタ。いったい、品川の住宅事情はどうなっているのでしょうか。

この年金では暮らしていけない

都営住宅への入居を希望し、毎回の申し込みを希望しているAさんは「何度申し込んでも都営住宅に当らない。ハズレの葉書もこんなに貯まってしまった」と話します。

少ない年金のうえに、容赦のない増税・負担増が高齢者の暮らしをいっそう苦しめられるなか、Aさんは「貯金が底をついたら、この先どうやって暮らせば

よいのか」と肩を落とします。

合計4051戸

公営住宅法に基づく家賃の安い住宅は品川区内に都営住宅361戸、区営住宅413戸あり、合計は4051戸です。

私への相談の中で、

公営住宅法 第一条(目的) この法律は、国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

入居希望者の理由で一番多いのは、経済的な理由ですが、最近では「アパートが老朽化し、とても暮らしていけない」「大家から建て替えるので引っ越してほしいと迫られている」といった、アパート老朽化から入居を迫られています。裏面へ



## 昨年の品川区区内における都営住宅応募倍率

募集時期	地区	募集戸数	応募数	倍率
5月 家族向	東品川ほか	3	1084	361
	北品川第2	3	175	58
	東品川第5	5	151	30
	東品川一丁目	1	130	130
	東五反田二丁目	1	248	248
	八潮五丁目	4	160	40
定期若年	大崎五丁目	2	123	62
定期多子	大崎五丁目	1	6	6
7月 家族向	東品川第5	2	253	127
11月 家族向	東品川	1	208	208
	東品川第二	1	386	386
	北品川ほか	4	283	71
	東品川第3	3	61	20
	東品川第5	3	46	15
	八潮五丁目	6	160	27
	大崎五丁目	1	77	77
11月 定期若年	中延6丁目	1	104	104
	大崎五丁目	1	40	40
	大崎五丁目	1	5	5
若年ファミリー	八潮五丁目	1	10	10
12月 家族向	北品川第2	2	562	281

### 倍率3ケタが年7回

左の表をご覧ください。  
昨年一年間の品川区内の都営住宅の募集戸数と応募数でみた応募倍率です。応募倍率はいつも高く、3ケタをこえる募集は年7回もあります。  
また、昨年の区営住宅では、693人の応募に対し、入居できた区民は

わずか24人。これらが示す事は、圧倒的に『公共住宅』が足りないという事です。

なんと  
386倍

### 共産党

「公共住宅の建設を」

品川区..

「もう十分作った。」

建設計画は無い」

私は、こうした実態を示し、品川区に対し「区民の生活実態や応募倍率を直視し、区営・都営住宅の建設を行うべき」と主張。しかし品川区は

「もう十分作った」「他の区に比べても遜色ない状態」との主張を繰り返します。

家賃の安い公共住宅は作らない一方、品川区が進めている住宅は、家賃14万円前後の区民住宅。また、大崎周辺の再開発で進むマンション建設は平均価格帯7千万円

(東五反田第三地区：今年春完成の大崎ルサンクシテイタワー)と高額です。

大崎周辺の再開発事業における税金投入は、計569億円。これは、単純に区営住宅(単身用一戸700万円)で換算し計算すると約8千戸にも相当する額です。

どのような住宅を作るのことが、自治体の役割なのか。私は、家賃の安い公共住宅の建設こそ急ぐべきだと思います。

なかつか亮

### 次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

11月9日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231